

2018 年度アジアフォーラム 21 セミナーを開催しました。

日 時：2018 年 9 月 12 日（水）13：30：～17：00

場 所：山梨県立大学 A 館 6 階サテライト教室

参加人数：約 30 人

テーマと講師

<セミナー 1>

アジアのシェアリングシティ事例 ～先進都市ソウルに学ぶ持続可能なまちづくり～

桜井 里子 氏 一般社団法人 シェアリングエコノミー協会事務局、
ポート株式会社 地方創生支援室 シニアコンサルタント

<セミナー 2>

アジアにおける産業集積・創業の動向 ～新たな集積、電子商取引、多様な人口ボーナス～

椎野 幸平 氏 拓殖大学准教授

セミナーの概要

<セミナー 1>

場所・乗り物・モノ・お金などの遊休資産をインターネット上のプラットフォームを介して個人間で貸借や売買、交換することでシェア（共有）していくシェアリングエコノミー（共有経済）の急速な発展は社会に大きな影響を与え、今や日本の経済効果は 10 兆円台にも及ぶことが試算されています。地域のあり方にも変革を起こしているシェアリングエコノミーについて、その形態、立ち上がりの経緯を確認するとともに、シェアリングエコノミーを街全体のインフラとして積極的に活用するシェアリングシティについて、全国自治体の導入事例をご紹介します。また、シェアリングシティの先進国・都市となる韓国・ソウルとオランダ・アムステルダムの違いや、急速に市場拡大している中国の動きなどについても写真を交えて示し、今後ますます生活に浸透していくであろうシェアリングエコノミーの可能性について考えました。



<セミナー2>



前職である日本貿易振興機構（ジェトロ）で、インド、シンガポールに赴任していた際の実体験に基づいた視点を交えながら、アジア経済についてご講演いただきました。山梨県の最重要産業でもある製造業における新たな産業集積の動向として、中国、タイに続き、ベトナムやフィリピン、インドネシアなどで集積が進んでいる現状と FTA などによる市場の一体化（集約の力）、人件費の変化（分散の力）についてデータでの詳細な分析とともに示唆をいただきました。また、サービス業におけるアジア経済のサービス化の加速と、今後の成長分野である電子商取引市場におけるアリバ

バを中心としたプラットフォームの拡大や、東南アジア・インドでの主要なスタートアップ企業の事例についても紹介しました。

さらに、アジア主要国の長期的な成長性を論じる観点から、アジア主要国の人口ピラミッドを提示しながら、人口ボーナス期の開始と終焉期についても言及いただき、今後のアジアでの企業戦略のあり方を探りました。

